



## 新年にあたって



東白石地区町内会連合会 東白石まちづくり実践会 会長 山中 忠典

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返って見ますと、一昨年と同じように新型コロナ禍の影響で行事もできなくなり、大半が中止となって一年が終わりました。手足をもがれるような感じであります。

そのような中でも、福祉のまち推進センターの中村会長はじめ、中嶋さんらスタッフの皆さんに工夫を重ね訪問活動等を行って頂いたことや、交通安全防犯部の辻部長はじめ、隊員の皆さんが協力して夜の防犯パトロールをして頂き、安心安全のまちづくりに寄与したものと確信しております。

札幌市ではコロナ禍がほぼ収束しつつある中、新たな変異株の拡大が懸念されるところですが、今年は三年前と同様に事業を回復したいものです。いずれにしても消毒・マスク・手洗い、そして3密を避けて、活動していきたいものです。会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

## 夢に向かい 学び合う あったか本郷 ~Withコロナ、知恵を集め粘り強く



札幌市立本郷小学校 校長 岡田 一伸

昨年4月に着任以来、コロナ禍のなか様々な制限の元、職員一同知恵を絞りながら教育活動を進めてまいりました。4月1日体育館で行った入学受付、在校生は参加せず保護者の皆様の参加人数を制限させていただいた入学式、延期に次ぐ延期の上、子どもたちだけで行った運動会…。話し合う活動、声に出して読む活動、合唱や合奏など、どうしたらいいのか悩み考える日々が続きました。そのような中でも、地域や保護者の皆様から「学校大変でしょう。できることがあればおっしゃってくださいね。」と声を掛けていただき、どれだけ勇気づけられたことか分かりません。

新しい年も職員一同、知恵を集め粘り強く子どもたちのために頑張ります。引き続きお力添えいただけますと幸いです。

## 東白石小学校の新校舎落成式を終えて



札幌市立東白石小学校 校長 橋本 隆

地域の皆様には日頃から本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年9月30日に、新校舎落成式を無事終えました。校舎の改築では地域の皆様にご協力いただき感謝しております。工事後すぐに地域の皆様と落成式典を実施予定でしたが、時節柄、延期となりました。子どもたちに「新たな校舎で伝統を受け継ぎ歴史を積み上げていく」という意識を培うには、あまり期間を開けるわけにもいかず、子どもたちだけで実施した次第です。当日は白石区長様にもVTRでのご祝辞をいただきましたところ、一時期本校に通っていた先輩であると分かり、子どもたちに良い励みとなりました。本校は児童会館も併設された地域に開かれた学校です。皆様の活動にも積極的に協力してまいります。コロナ禍が一段落しましたら、皆様に校内を見ていただく機会を設けたいと考えておりますので、今後とも宜しく願いいたします。

# 東白石会館の改修について

東白石会館建物は、昨年8月より改修工事を行っていましたが、12月中旬に工事が完了し、12月20日よりまちづくりセンターの業務を再開いたしました。(会館貸室は1月4日から再開)

今回の改修では、建物入り口にスロープが設けられたことや、下駄箱の移設、トイレ便器の更新、2階和室の改装(タタミから塩ビシート床へ変更)などを行っております。

装いを新たにした東白石会館のご利用をお待ちしております。



会館ロビー



和室改装



会館玄関スロープ



会館便器更新

## 地域（わたしたち）もアレフ施設を注視しよう

東白石地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会 会長 藤原 英朔

お母さんと小さな子供たち、手をつないで、どこか遊園地にでもいく感じで仲良く施設に入っていく。これが今のオウム(アレフ)白石施設の毎日であることを地域の人はどう理解するのでしょうか。

サリン事件を「国家の陰謀だ」として、死刑執行された麻原を偶像化し、麻原(松本智津夫)の偉大性を教義の中心に据え入信させるということが、私たちの住む同じ地域の中で日常的に行われており、地域住民として誰もが受け入れ難いことと思います。

施設に出入りする人達は、他人の目を避ける傾向があります。お母さんに連れられていた子供たちが、麻原の教義を鵜呑みにして地域の学校に入学してからでは遅いのです。

私たち一人一人がアレフ施設の存在を当たり前と捉えること無く、今後も注視していく必要があります。



アレフ施設全景



対策協議会ビブス

## 避難所運営研修（白石中学校）に参加しました

令和3年11月16日に白石中学校、12月7日に本郷小学校において「避難場所運営研修」が行われ、区職員や町内会の方々が参加いたしました。研修では避難所運営の基礎知識に関する講座や、避難所運営ゲーム(HUG)を通じて、初動対応と基本的行動の確認を行いました。今年度は、白石中学校と本郷小学校の他、平和通小学校(1月17日予定)が研修実施対象校となっています。



### 研修参加者の感想

- 当町内会は地域避難所に指定されているため、今回の研修会では備蓄に関することや、避難所運営ゲームに参加して避難所開設時における問題点の解決方法等を体験することが出来て、大変参考になった。(本郷町内会)
- 学校に防災設備が用意されていること知り、大変心強く思った。また、寒い時期の対策として寝袋・毛布の必要性や、避難所の役割分担などをしっかり行う必要性を感じた。(栄通7丁目町内会)

## 東白石安心安全パトロール隊の略歴と活動

東白石安全安心パトロール隊 常任委員長 辻 直 則(東栄会)

パトロール隊は平成11年頃に夜間パトロールとして発足し、平成14年に単町の防犯部長も加わり活動が拡大しました。平成17年に消防庁より地域安全ステーション整備モデル事業の指定を受け、平成18年には白石警察署より防犯パトロール隊の認定を受けました。平成28年には長年の活動が評価され「札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰」を受けています。現在は16町内会137名 青色灯車両6台で構成されて、月2回の徒歩と車両によるパトロールを行っています。今年は緊急事態宣言とまん延防止等重点措置のためパトロールの中止が長く続き、再開が10月からとなり徒歩に於いては数回の活動となりました。少々物足りなさを感じますが、パトロール隊員の健康と安全が第一でありますので、今後もこの考え方で進めたいと思います。引き続き地域の安心安全のためご協力をお願い致します。



## 令和3年コロナ禍の活動

暁町内会 会長 柳本 稔 榮

一昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、毎年恒例の新年交礼会、落語鑑賞会、マージャンを楽しむ会・大会といった室内で行う行事は、感染予防のため、ほとんど中止としました。この様な中、令和2年度は書面表決で実施した定期総会を、令和3年度は、定期総会だけは対面で開催しようという事になり、マスク着用、消毒・検温の実施、3密を避け、飲食を伴わない感染防止対策を取っての実施となりました。例年より少なめの出席人数でしたが、活発な質疑応答がなされました。

町内会活動の中で、コロナ禍でも比較的感染しにくいと言われている屋外での行事のうち、恒例の「あかつき夏まつり」は中止となりましたが、春・夏・秋の町内一斉清掃、街路マス花壇への花植え・水やり・草取り・花摘み、防災対策用機器の操作使用訓練、70歳以上の独居世帯への「そっと見守り」、冬期間のパトロール等は、例年どおり実施しています。

特に、令和3年度の夏休み期間中の「ラジオ体操」は東白石小学校で行われ、コロナ禍で家に籠りがちな生活から一時の解放を求めてか、例年に無く多くの児童・地域住民の方が参加され、100人を超える日もありました。

「白石あかつき公園」は、昭和46年に開園し、遊具等施設が老朽化するなど、暁町内会としても長年改善を要望していましたが、区土木センターより「白石あかつき公園」の令和3年度以降の再整備工事の検討を始めているので、意見交換会を行いたいとの話があり、令和2年10月、12月に開催された地域住民・団体との意見交換会を経て、令和3年8月に工事を着工し、同年12月の完成に向け工事が行われました。

装いを改にする公園が、地域の多くの方々の憩いの場や、町内会活動の有効な活用場所となることを楽しみにしています。



## 編集後記

東白石地区の皆様が努力と忍耐で乗り越えてきた激動の令和3年を振り返ると、地域の安全安心を守るために各町内会が工夫を凝らして取り組んだ足跡が見えてきます。今号は、改修された東白石会館の紹介と共に、各地域や団体の取り組みの様子をお届けします。令和4年が希望に満ちた年であるようにと願いを込めて、今年1年の皆様のご健康をお祈りいたします。